



いよいよはじまる、大病院の二極化ー。

# 病院業務IT化の 推進4大ポイント

池上総合病院様(384床)業務IT化事例あり

## 目次

### CHAPTER. 1

## IT化が大病院の存続に影響する理由

### CHAPTER. 2

## 大病院のIT化が遅れる4大原因と対策

### CHAPTER. 3

## 大病院向けITと導入事例（池上総合病院様）

---

## 本資料の対象者

300床以上の病院の経営層（院長、事務部長、経営企画）

CHAPTER. 1

# IT化が大病院の存続に 影響する理由

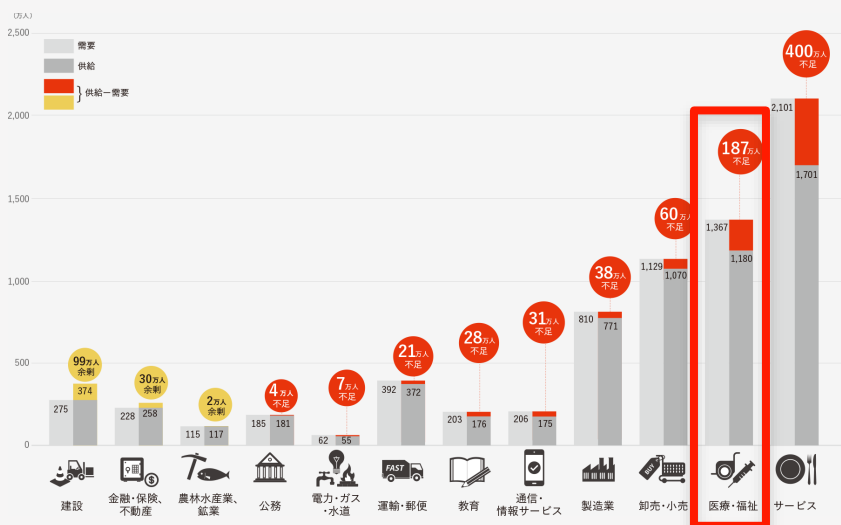
# 病院職員から切望される業務効率化ニーズ

人口減少、少子化により、医療業界の人手不足は深刻化。職員不足により業務不可が増大し、離職率向上に繋がっている

## 課題 1

### 医療業界の人手不足は深刻化

2030年には、医療・福祉業界において1,367万人の労働需要に対して1,180万人の労働供給（供給率86%）となり、187万人の不足（不足率14%）が推計されている。

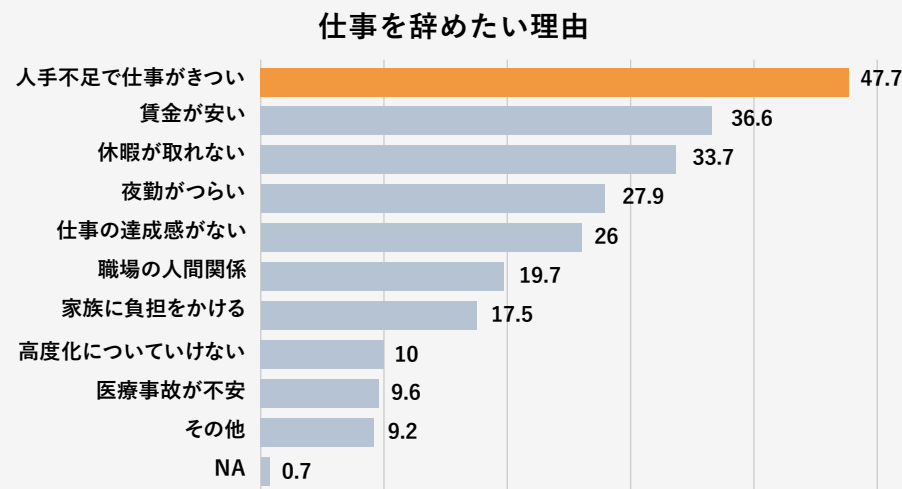


出典名：パーソル総合研究所・中央大学「労働市場の未来推計 2030」

## 課題 2

### 人手不足による業務過多により離職率向上

看護師離職の原因1位は「人手不足で仕事がきつい」。内50.8%の人は十分な看護が出来ていないと感じ、その主な理由は「人員が少なく業務が過密」が79.0%。



出典：日本医療労働組合連合会「2017年 看護職員の労働実態調査」

**[結論]** 病院は職員確保のため、業務効率化による職員の業務負担の軽減が求められる

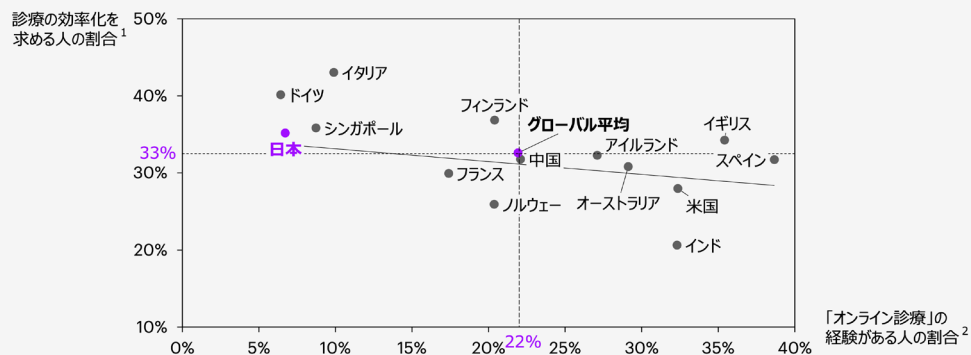
# 患者から切望されるIT化

日本での医療IT化は遅れているが、患者はIT化による効率化を求めている

## 日本はITニーズとIT経験率が乖離している

日本は世界と比較し、医療IT化が進んでいない一方、医療効率化ニーズは世界平均値と近い。現状日本は患者を満足させられていない。

### 診療の効率化重視と、オンライン診療の受診経験の関係

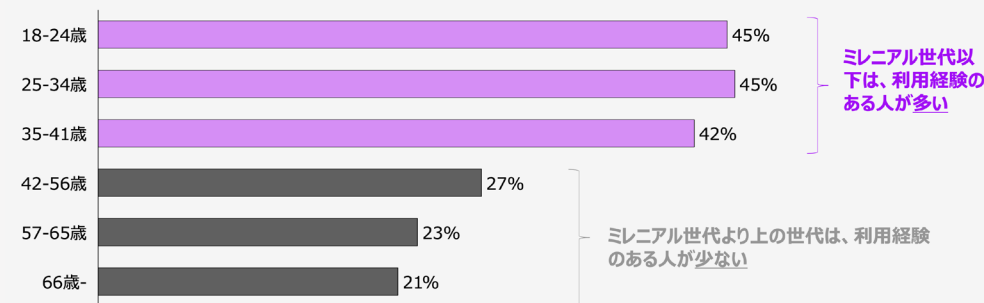


出典名：出典：アクセンチュア「日本におけるデジタルヘルスのいま」

## 医療ITのニーズ増加

日本は41才以下における医療IT利用率が高い。つまり41歳以下の成長に伴い、ITニーズの増加が見込まれる。

### 〔日本〕年齢別・デジタルヘルスの利用経験「あり」と回答した人の割合



出典名：出典：アクセンチュア「日本におけるデジタルヘルスのいま」

**〔結論〕** 病院は職員確保のため、業務効率化による職員の業務負荷の軽減が求められる

## まとめ

人手不足による業務過多により離職率向上

職員確保のために業務効率化が必要

今後、患者はIT化による効率化を期待

患者満足度向上のためにはIT化が必要

- ☑ 大病院は今後、職員を確保する必要があるため、早期にIT導入による業務効率化を実現し、職員の業務負担を軽減し、職員満足度を向上する必要がある。
- ☑ 今後日本では少子高齢化及び人口減少が進み、また患者によるIT導入ニーズが高まるため、大病院は早期に適切なITを導入し、患者満足度を向上し、利用者数を維持する必要がある。

**[結論]** IT導入による患者及び職員の満足度向上が大病院の存続に影響



CHAPTER. 2

# 大病院のIT化が遅れる 4大原因と対策

大病院のIT化が遅れる理由は大病院特有の原因があるためです

## 大病院のIT化が遅れる4大原因



1

### IT導入後に不安

大病院は職員や患者が多く、ITに不慣れな方が多いため、IT導入後、院内から不平不満が生じる可能性が懸念される。



2

### 巨大な縦割り組織

大病院は部門・役職が多く、目的が異なるため、部門横断システム導入する場合、各部門から合意を得ることが困難。



3

### ITの優先順位が低い

大病院は現場第一主義であり、医療機器導入などを優先し、費用対効果が見えにくいIT導入は優先順位が低くなる。



4

### IT連携に不安

自院電子カルテと連携不可、または自院運用に適しないシステムである場合があり、事前に慎重に確認が必要。

### まとめ

- 大病院、小規模病院、クリニックではそれぞれ違った原因によりIT化が遅れている。
- 大病院特有の原因を理解し、最適な対策によりIT化の実現が可能となる。

次のページにて大病院へIT化するための対策を掲載。



大病院特有のIT化が遅れる原因を解消するためには下記対策が必要です

## 大病院をIT化するための4大対策



1

### 使いやすさを重視

他院での導入事例（院内での評判）を確認し、ITが不慣れな職員・患者でも使いやすいシステム選定が必要。



2

### 関係部門からの合意

関係者へのMTGを実施し、各部門の業務内容を整理し、各部門への導入メリットを説明し、合意を得ることが重要。



3

### ITの優先順位を高める

IT化が大病院の存続に影響する理由（本書記載）を経営層へ伝えるとともに、IT導入による費用対効果を明確化。



4

### IT連携の事前確認

対象システムが貴院の電子カルテと自動連携できるか確認し、連携による運用イメージを明確化することが重要。

### ポイント

- 上記を実行するためには院内での努力だけでは難しく、業者の協力が必要。
- 大病院へのIT導入実績があり、ノウハウを有している業者を選定することが重要。

次のページにて「大病院のIT化が遅れる原因と対策」をまとめました。

## まとめ

これまで遅れていた院内IT化について原因と対策を明確化することで、今後、何をすべきか明確になったのではないのでしょうか？

大病院のIT化が遅れる原因	大病院IT化の対策
 IT導入後に不安	 使いやすさを重視したシステム選定
 巨大な縦割り組織なので合意を得にくい	 事前に関係部門からの合意を得る
 ITの優先順位が低い	 ITの優先順位を高める
 IT連携に不安	 IT連携の事前確認

- [結論]**
- ☑ 大病院は特有の原因によりIT化が遅れているため、最適な対策が必要。
  - ☑ IT化により**職員の業務負担を軽減**（従業員満足度向上）し、**人手不足解消が可能**。
  - ☑ IT化により顧客満足度を向上することで**病院利用者数を増加**し、経営改善が可能。

CHAPTER. 3

院内クレーム無しで **大病院の事務業務を90%削減**  
**大病院に選ばれる**  
**病院効率化システム『アルテリア』とは？**

# 大病院の事務業務を90%削減！

iPadによる病院効率化システム

## ARTERIA AXIA

### 導入のメリット

- ☑ 事務業務90%削減
- ☑ 業務フローを変えずに導入可能
- ☑ 電子カルテとリアルタイム連携
- ☑ ペーパレス化によるコスト削減
- ☑ 新型コロナの院内感染リスクを低減



## 大病院経営層のお悩みの声から生まれた 病院IT化を実現する5大機能

### 機能1 電子サイン対応のPDF文書機能



電子  
サイン  
対応



問診票も  
直接入力

### 機能2 iPadを利用した 問診システム

### 機能3 Web予約機能

### 機能4 アナムネ

### 機能5 バイタル



病院効率化の  
特許を取得  
(2021年4月)

弊社は病院の業務を効率化するための  
特許（第6871639号）を取得しています

## アルテリアによる費用対効果

患者数(年間)が10万人の場合、アルテリア導入による  
費用対効果(年間)は**3,472万円**の見込みです。

患者数(年間) * 弊社による予測値	10万人
削減時間(年間)	15,000時間
時給 * 全国看護師平均時給	2,500円
人件費削減額(年間)	3,750万円
アルテリア費用(年間)	278万円

費用対効果(年間) \* iPad20台 利用を想定 **3,472万円**

# アルテリア導入により大病院の事務業務を効率化 月間622時間の削減！ 池上総合病院様（384床）

- 2020年11月アルテリア導入
- コロナ問診12,450枚×3分（1人当たりのスキャン時間）＝622時間削減
- 医療法人社団松和会 池上総合病院様（384床・東京都大田区）



## 導入の背景

当院ではすでに電子カルテを導入済ですが、問診票や同意書は依然として患者様に紙の用紙へ手書きで記入をお願いしていました。その後、受付職員が確認し、スキャンして電子カルテに紐づけをする流れです。このため、紙のファイリングが必要という状況が続いており、さらなるペーパーレス化を検討しました。

## システム選定のポイント

特に注目したのはiPadで入力可能な「問診機能」と、従来の手書き書類のイメージをPDFでそのまま運用できる「文書機能」です。文書機能は、従来の紙イメージを継続でき、記入する患者様も後処理をする職員も、違和感なく移行することができます。

## 導入効果

- ☑ **使いやすさ**      ご年配の方も違和感なく使用されています。
- ☑ **ペーパーレス化**      紙のファイリングの必要がなくなり、書類管理の効率化が図れました。
- ☑ **業務効率化**      歯科口腔外科では、受付と診察室が離れているため、患者様が診察時に問診票を携行して、医師に示していましたが、電子問診運用後は、受付で確認するとすぐに電子カルテに紐づけられるので、医師が診察前に問診票を確認することが可能となりました。

## 今後の展開

目標は、全25診療科とともに、登録文書の種類を増やし、病院全体でペーパーレス化することです。



## アルテリアが大病院のIT化を実現できる理由

大病院のIT化が遅れる理由	アルテリアが大病院のIT化を実現できる理由
IT導入後に不安	<b>使いやすく、導入後も従来通り運用可能</b> シンプルでわかりやすいため高齢の方にも違和感なく利用可能（他院実績あり）。また、アルテリアなら従来の業務フローを変えずに導入可能であるため、導入後に各部門に混乱が生じることなく定着可能。
巨大な縦割り組織なので合意を得にくい	<b>各部門からの合意をサポート</b> 導入前に各部門参加の導入支援ワーキングを実施し、各部門の目的・要望を調整し、運用方法、導線設計、電子カルテ連携などについてサポート。他院導入事例をもとに各部門へのメリットを説明し合意形成。
ITの優先順位が低い	<b>ITの優先順位向上</b> アルテリアは費用対効果をわかりやすく試算可能であり、従来の業務フローを変更することなく導入できるため、大病院の経営層から合意を得やすく、優先的に導入されるケースが多い。
IT連携に不安	<b>国内全ての電子カルテとシステム連携が可能。</b> 混同しやすい「連動」ではないためリアルタイムでデータ反映が可能。他院導入実績から連携による運用・活用案を提案可能。

### アルテリアが大病院に選ばれる理由

- 当社は旧東芝グループ時代からIT事業50年超の実績があり、大病院のIT化における課題と対策を熟知しています。
- アルテリアは大病院向け業務効率化システムであり、これまで難しかった大病院のIT化を実現することが可能です。



# ITソリューションビジネス 50年超

## 株式会社 WorkVision

### (旧社名：東芝ソリューション販売株式会社)

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-4 天王洲ファーストタワー 22 階

お問い合わせ バリュークリエーション推進部 ARTERIA担当



03-4233-0939



[info\\_arteria@cvf-tsos.co.jp](mailto:info_arteria@cvf-tsos.co.jp)

Webサイトは[こちら](#)から検索

アルテリア 病院

検索



091



0008

認証範囲：コンピュータソフトウェアの設計・開発・保守・サポート及びインフラ構築業務  
認証対象組織：品質管理担当及び支店を除く製造部門